

さくぎ町民だより

発行 (一社) 作木町自治連合会
 三次市作木町下作木905-2 文化センターさくぎ
 TEL 0824-55-2115 FAX 0824-55-7010
 メールアドレス bs.sakugi@pl.pionet.ne.jp



文化センターさくぎ上



ホームページQR

1月号

新年あけましておめでとうございます (一社)作木町自治連合会

町民の皆様には、お健やかに

新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃より自治連合会運営に格別なる御理解と御支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて昨年を振り返りますと、年明けに発生した石川県能登地方の大地震に始まり、9月の記録的な大雨で多くの方が被害に遭われるなど、全国的に台風、大雨などの自然災害が多い年となりました。作木町におきましても、11月に発生した台風21号による大雨の影響により江の川水位が上昇するなど、災害対応の重要性を改めて感じたところです。

また昨年は、合併から20年という節目を迎えましたがこの間、作木町は人口の激減、農地や山林等の荒廃、有害鳥獣被害の拡大により、地域住民の生活実態は深刻化し、集落機能に危機感を募る状況となり、将来に向けた持続可能なまちづくりに取り組むことが急務です。

このような中、明るいニュースもありました。その一つは作木小学校の児童が応募した特定非営利活動法人幼年教育・子育て

理事長 瀧奥祥二郎

支援推進機構主催の「創作絵本部門」において、地域と学校で学習してきた絶滅危惧種IB類指定のブッポウソウを題材とした絵本「きみをまってる」が内閣府特命担当大臣賞を受賞されたほか、保護活動を通して、小学校の授業を長年支援されている「めんがめ倶楽部」の活動が広島県教育奨励賞を受賞されました。また、岡崎遥海さんが幼少の頃の江の川カヌー公園でのカヌー体験をきっかけにカヌー選手を目指され、パリオリンピックへ日本代表として出場されました。作木の豊かな自然と一体化した施設が、まちづくりの中で着実に効果が出ていることを感じていきます。まちづくりを進める上において、地域にある多くの資源と施設の活用について、今一度考えてみたいものです。

今後は作木町の状況を見据える中、町民誰もが安心して生活できる公共交通の体制づくりに向けた取組や、コミュニティスクール事業や元気サロン事業など、いろいろな事業の活用を含め「元気な里・さくぎ」を次世代に引き継ぐための取組が大切です。

代に引き継ぐための取組が大切です。

作木町自治連合会は、作木町第3次まちづくりビジョンに掲げる4つの活動を基本とし、町内の多くの資産を活用し、その実現に向けた取組と課題の解決に向け地域の皆様と一丸となつて、進めてまいります。引き続き、ご理解とご協力賜りますようお願い申し上げます。

結びに、町民の皆様一人一人が輝く一年となりますことを祈念し、新春のご挨拶とさせていただきます。

三次市へ要望書を提出



作木町自治連合会では、毎年町内のさまざまな地域課題の改善にむけて、三次

市へ要望活動を行ってまいります。

12月12日（木）福岡市長へ要望書を提出しました。要望内容は次のとおりです。

- 1 交流人口と定住人口の増加にむけた取組
- 2 子どもたちがふるさとへ愛着を育む取組
- 3 環境整備
- 4 通学路の街路灯増設や道路整備と草刈り作業単価の増額と耕作放棄地対策
- 5 町民の健康管理と増進に向けた診療所の医療体制の構築
- 6 広島県と三次市へ防災対策と道路整備を要望
- 7 持続可能な生活交通体系の利便性向上にむけた運行体系の見直し
- 8 有害鳥獣被害防止対策に係る取組
- 8 地籍調査の早期完了



相続登記の義務化に かかる研修会



作木町自治連合会主催により11月21日（木）に文化センターさくぎで開催し、31人の参加がありました。

この研修会は、不動産の相続登記の申請が令和6年4月1日から義務化されたことにより、講師の行政書士の古川充こがわみつるさんに、この法改正の内容や注意点、申請方法などについてわかりやすく説明していただきました。

研修会では、今回の法改正で、不動産を相続したことを知ったときから3年以内に登記をしなければ、10万円以下の過料が科せられるようになったこと。また、

正当な理由があれば過料が課せられない場合があり、その過料回避のひとつとして「相続人申告登記」の方法などがあることなどの説明がありました。さらに相続する際には、亡くなった人の戸籍謄本などを取る必要があるが、その際、法定相続人の範囲の確定も必要となることから、手続きが煩雑となるため、専門家に相談した方がよいことなどのアドバイスがありました。

町民の 地域内交通乗車体験

作木町自治連合会では、町民の皆さんが利用しやすい公共交通を検討するために、10月と11月に町民対象の交通乗車体験を行いました。

この体験は、備北交通または君田交通のバスを利用して、町民の思いや意見を集約して整理し、今後の地域交通について検討することを目的にしており、2ヶ月でのべ38名の参加がありました。

地域内交通 乗車体験

森山区

寒い日が続く季節となりましたが、私たち森山区役員は、11月、三江線廃止に伴い運行している代替バスを利用して三次に行きました。

普段は自家用車でしか移動しないので、久々の公共交通機関の利用で、運賃の払い方さえも忘れていた私たちですが、乗ってみると広い座席や、いつもとは違う目線でそれだけで新鮮なものを感じ、ただただ三次に行くだけですが、ちよつとした旅行に行った気分になりました。

また、料金の支払い方法や下車ボタンの押し方の講習まで運転手さんにしてもらい、楽しく三次に行くことができました。

自家用車を持たない人や学生にとっては必要なバスであることを改めて感じる良い機会でした。

町内の皆様も、ぜひ公共交通機関を利用して日常と少し違った体験をしてみたいかがでしょうか。（大崎 一輝）

賑やかな秋まつり

岡三沢区

昨年の秋祭りで神楽の奉納をすることとなり「餅まき」の餅を加工場で前日に作りました。

今春に公務員を定年退職して岡三沢に居住し始めた人や小学生と保育園児の姉妹とのお母さんが初参加し、さらに、元岡三沢の住人を通い農業をしている人たちが帰省して参加するなど賑やかな餅づくりとなりました。そして祭りの当日の午前中は、めんがめ倶楽部主催の「サツマ芋掘りと大根の収穫持ち帰り」へ広島などから家族連れが多く参加して楽しみながら収穫し、昼からは、集会所前で焼き芋や焼き餅などを味わい、その後、伊賀和志神楽団の春日大社への奉納神楽を鑑賞しました。住民が減少する中で転入者や広島から交流で岡三沢を訪れる人が一体となり、有意義な秋祭りとなりました。（上川 孝司）



みんなで防犯！ 戸別訪問に注意してください！

市内で「トイレを貸して」「あいさつ回り」などと言って民家を訪問する不審者情報が警察に寄せられています。住宅をねらった強盗などがあなたの家を下見している可能性があります。

～被害にあわないために～

- 来訪者の対応は、すぐにドアを開けないで！まずは相手を確認してください。
- 知らない相手を家に入れない。家族構成や個人情報を変えない。家の戸締りをする。

自治連からののお知らせ

防災訓練実施

作木町自主防災会では、11月24日（日）地震を想定した防災訓練を実施しました。今回は住民の安否確認と地域避難場所の情報伝達する訓練と救急対応訓練を行いました。



対策本部で状況把握



地域避難場所への避難訓練



段ボールベッドの組み立て



応急手当講習



AEDの使い方講習

広島県教育奨励賞 受賞おめでとうございます

めんがめ倶楽部（岡田修司会長）が、令和6年度広島県教育奨励賞を受賞されました。

同賞は、社会教育などの分野で成果が他の模範として奨励できるものを県教育委員会が表彰するものです。めんがめ倶楽部は、平成18年から絶滅の危機にあるブツポウソウの保護活動を中心に、巣箱掛けや生息調査などを行い、今では、本町が国内有数の巣营地として知られるようになりました。

また、こうした活動を、作木小学校の「ふるさと学習」で児童へ伝えるとともに、児童の郷土愛を高めるきっかけづくりに貢献しました。

さらに、野菜の収穫体験など自然を生かした体験活動を継続的に実施し、学びの機会の提供を積極的に行っているなど、これらの活動の功績が認められました。

枕木の譲渡について

作木町自治連合会では、旧J R三江線の軌道内で使用していました枕木を広く皆様に譲渡し使用していただくよう呼びかけをしています。このたび2月1日の申請から枕木の寄付金を1本200円に変更することといたしました。個人の申請もできますのでどうぞご利用ください。お問い合わせは自治連合会（電話55-2115）へお願いします。

冬休み 放課後子ども教室



百人一首にチャレンジ



おやつづくり

二次市議会 「議員と話そう」

市議会議員と町民の皆さんとの意見交換の場として、次のとおり開催されます。ぜひ、ご参加ください。

作木会場の開催日時
令和7年1月19日（日）
13時30分から15時まで
会場 作木山村開発センター
「集会室」

内容

- 第1部 議会報告
常任委員会での取組など議会の活動について
- 第2部 ワークショップ
テーマ 農業・環境

作木町書道展に ご来場ください

開催日程
令和7年1月16日（木）
から31日（金）まで
会場 文化センターさくぎ
「展示スペース」

今回も小中学校の児童・生徒の作品や一般の皆さんの作品を展示します。

次回の町民だよりは 3月に発行します

作木から世界への挑戦

作木町自治連合会では、地域の活性化や人づくりを目的として、12月7日に令和6年度まちづくり講演会を作木山村開発センターで開催し、55人の参加者がありました。

当日は、カヌー・スラローム選手の岡崎遥海さんをお招きし「作木から世界への挑戦」川の上で見つけた自分を大切にする方法」と題して、「江の川カヌー公園さくぎ」でのカヌー体験をきっかけに、カヌー・スポーツに夢中になるとともに、競技の道に進み、選手としてジュニア時代から頭角を現すようになり、やがて全国大会や世界大会で上位入賞、ついには、パリ五輪への出場を果たした岡崎さんのこれまでの活躍ぶりや苦労話、パリ五輪での体験談などをお聞きしました。

講演の中で岡崎さんは、「小学生時代から五輪出場を目標に毎日漕ぎ続け、今回、パリ五輪出場を果たすことができた。これからも、

さらなる高みとしてロス五輪をめざすことを決めた」「カヌーとの出会いで、自分に夢がある幸せを感じ、考え方を180度変えられるきっかけとなったのもカヌーだった」
最後に「大切なことは、ゴールラインを切るまで自分の可能性を信じることで、皆さんも、自分と向き合うことで自分の可能性を広げ、『よかった』と思える日々を過ごしてほしい」と会場の参加者を励ますなど、勇気や希望を与えていただいた講演会でした。



岡崎遥海さん



消防団作木方面隊 年末警戒・出初式

作木消防から 謹賀新年



新年あけましておめでとうございます。昨年は町内の火災予防に対し、多くのお力添えをいただきありがとうございました。

本年は火災の無い一年となりますよう、皆様の御協力の程よろしく申し上げます。

火災・救急の件数

11月 火災0件・救急7件
12月 火災0件・救急8件

◎火災と救急は
119番
三次消防署

令和6年の火災・救急件数
火災2件・救急160件

作木出張所
TEL55-3109

12月28日から30日までの3日間、作木方面隊の年末警戒が行われ、夜間の巡回と防火の呼びかけに務められました。
また、1月5日（日）三次市消防団の出初式が十日市親水公園で行われ、市内の各方面隊の団員が集い、火災のない1年を願いました。火災の無い、明るい1年となりますよう、皆様のご協力をお願いします。

三次の住まいの相談室 しんわホーム

リフォーム・新築・増築

土地・建物の賃貸売買

給排水工事・電気設備工事

宅地造成・維持修繕

フリーダイヤル 0120-344-130

定休日 日曜日

営業時間 9:00 ~ 18:00

